

○ 環境調査結果（令和2年度）

（1）（株）HIRAYAMA実施分

調査項目		実施頻度	結果概要	
岡田山の廃棄物 （掘削時）	27項目 （水銀，カドミウム等）	1,000 m ³ ごとに 1回（計42回）	土壌溶出量，含有量とも基準値以下	
改良土 （リサイクル製品）	27項目 （水銀，カドミウム等）	800 m ³ ごとに 1回（計73回）	〃	
大気質等	粉じん	年4回	撤去開始前後で変化なし※	
	アスベスト		〃	
	硫化水素・メタン		検出なし	
騒音・振動		〃	撤去開始前後で変化なし※	
水質	地下水	28項目 （水銀，カドミウム等）	年4回	環境基準値以下
	場内排水			
	浸出水	28項目 （水銀，カドミウム等）	〃	〃
底質 （事業場出入口付近）	ダイオキシン類	年1回	環境基準値以下	

※ 基準等の設定はないため，測定値の年間の推移を確認している。

(2) 本市実施分

調 査 項 目		実施頻度	結 果 概 要	
岡田山の廃棄物 (掘削時)	26 項目	月 1 回	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下	
	ダイオキシン類	2 箇月に 1 回	環境基準値以下	
土壌 (リサイクル製品搬出 時の検査)	26 項目 (水銀, カドミウム等)	年 2 回	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下	
土壌 (汚染洗浄後の検査)	26 項目 (水銀, カドミウム等)	—	汚染土壌の受入がなかったため測定 なし	
大気質等	一般大気, 3 項目 (二酸化窒素等)	常時	環境基準値, 京都市環境保全基準値と も基準値以下	
	有害大気, 13 項目 (水銀, ベンゼン等)	年 1 回	環境基準値, 京都市環境保全基準値と も基準値以下 (環境省が環境指針を設 定している項目については, 全て同指 針値以下)	
	粉じん (降下ばいじん)	年 4 回	京都市環境保全基準値以下	
	アスベスト	年 1 回	撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。)	
	硫化水素	年 1 回	規制基準値以下	
	メタン	年 1 回	撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。)	
騒音・振動		年 1 回	〃	
水質	地下水	28 項目 (水銀, カドミウム等)	年 2 回	環境基準値, 京都市環境保全基準値と も基準値以下
	河川水	35 項目 (水銀, カドミウム等)	年 2 回 (3 地点) 年 4 回 (1 地点 ^{※2})	〃
	底 質	7 項目 (水銀, カドミウム等)	年 1 回	暫定除去基準値以下
ダイオキシン類	大 気	年 4 回	環境基準値, 京都市環境保全基準値と も基準値以下	
	地 下 水	年 1 回	〃	
	河川水・底質	年 1 回	〃	
	周 辺 土 壌	年 1 回	〃	

※1 「フッ素及びその化合物」が検出された廃棄物については, 事業場内の処理施設にて除去処理し, 処理後物については, 有害物質がすべて基準値内であり, 安全に使用できるものであることを確認している。

※2 常時監視地点であるため年 4 回調査を実施している。